

指定管理者制度導入施設 モニタリングシート

評価年度	令和3年度
------	-------

1 基本情報

公の施設名	相模原市立障害者支援センター松が丘園、相模原市立けやき体育館
指定管理者名	社会福祉法人相模原市社会福祉事業団
指定期間	平成31年4月1日から令和6年3月31日まで(5年間)
施設設置条例	相模原市立障害者支援センター条例、相模原市立けやき体育館条例
施設の設置目的	<p>【障害者支援センター松が丘園】 障害者の自立と社会的活動への参加を促進し、もって障害者の福祉の増進に寄与する。(条例第2条) ※障害福祉サービス事業の多機能型事業所(生活介護、自立訓練、就労移行支援、就労継続支援B型、就労定着支援)及び地域生活支援事業の基幹相談支援センター等を実施</p> <p>【けやき体育館】 障害者の健康の増進、機能の回復及び教養文化活動の促進を図り、もって障害者の福祉の向上に寄与する。(条例第2条)</p>
施設概要	<p>【障害者支援センター松が丘園】 ○所在地：相模原市中央区松が丘1丁目23番1号 ・1階：作業室、ケアルーム、相談室、保健室 ○敷地面積：2,388.00㎡ ・2階：作業室、相談室、食堂兼多目的ルーム ○延床面積：2,703.45㎡ その他更衣室等 ○構造：鉄筋コンクリート造、地下1階地上3階建 ・3階：団体活動室、生活指導室、研修室</p> <p>【けやき体育館】 ○所在地：相模原市中央区富士見6丁目6番23号 ○敷地面積：4,058.72㎡のうち2,252.87㎡ ○延床面積：1,723.37㎡ ○構造：鉄筋コンクリート造陸屋根亜鉛メッキ鋼板葺2階建 ○主な諸室：体育室、機能訓練室、更衣室、教養室、和室、教室</p>
施設所管課	健康福祉局 地域包括ケア推進部 高齢・障害者福祉課

2 管理実績

項目(単位)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
松が丘園	多機能型事業所利用者数(人) (うち生活介護利用者数(人))	9,408 (1,523)	9,410 (1,535)	9,806 (1,692)	9,354 (1,611)	9,587 (1,633)	
	一時ケア事業利用者数(人)	2,043	2,032	1,774	1,204	1,170	
	自立支援給付費合計(円)	86,465,172	81,735,341	100,595,386	94,228,589	99,370,110	
	利用者負担金合計(円)	4,196,163	3,990,150	3,853,180	3,528,487	3,533,532	
	収入総額(円)	454,102,139	464,160,239	360,339,529	357,442,538	374,016,018	
	支出総額(円)	345,985,068	463,833,759	360,339,529	357,442,538	374,016,018	
けやき体育館	利用者数合計(人)	67,135	60,325	58,259	18,325	27,604	
	障害者利用人数合計(人)	22,084	19,935	19,861	7,028	11,109	
	利用料金合計(円)	2,426,919	2,127,375	2,235,310	998,855	1,407,365	
	貸館率(%)	68.0	68.0	68.3	45.2	50.9	
	収入総額(円)	54,329,919	68,181,375	55,578,892	51,917,585	53,782,818	
	支出総額(円)	54,329,919	68,181,375	55,578,892	51,917,585	53,782,818	

3 成果指標の達成度

評価 (5評価)	評価理由・委員会意見
C	<p>成果指標の達成度は85.5%(両施設の平均)であり、評価基準により「C評価」とする。</p> <p>【障害者支援センター松が丘】 新型コロナウイルス感染症の影響で昨年度より減少しているが、引き続き高い実績値を維持している。 また、継続的な支援を経て就職した精神障害者等は昨年度より増加(17人→19人)しており、コロナ禍においてもオンラインツール等を活用した積極的な支援を行った成果であると考え。</p> <p>【けやき体育館】 1年間を通して、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策に伴う利用定員の制限(半数)や利用控え等の影響により、目標値を大きく下回ってしまっている。今後も引き続き、感染症拡大防止対策を徹底しつつ、障害者の健康の増進、機能の回復及び教養文化活動の促進のため、さらなる利用拡大に努めていただきたい。</p>

指標 1	障害者支援センター松が丘園
指標名 (単位)	年間就労者数 単位:人
指標式と指標の説明	施設を利用し、就労する障害者が増えることにより、障害者の自立と社会参加が推進されるため、就労支援事業利用登録者のうち、一般就労に結びついた人数を成果指標とする。

項目 (単位)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値 (人)	47	50	52	54	56	58	60
実績値 (人)	67	62	88	70	62	/	/
達成度 (%)	142.6%	124.0%	169.2%	129.6%	110.7%	0.0%	0.0%

指標 2	けやき体育館
指標名 (単位)	障害者の年間延利用人数 単位:人
指標式と指標の説明	施設を利用する障害者が増えることにより、市内の障害者の健康の増進や教養文化活動の促進が図られるため、障害者の年間利用者数を成果指標として設定する。

項目 (単位)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値 (人)	/	/	21,900	22,000	22,100	22,200	22,300
実績値 (人)	21,969	19,935	19,861	11,924	13,301	/	/
達成度 (%)	#DIV/0!	#DIV/0!	90.7%	54.2%	60.2%	0.0%	0.0%

※令和3年8月6日から9月30日の間は休館していたことを考慮し、実績値は13,301人とする。

11,109人(実際の利用人数)×358日(条例上の開館日数)÷299日(令和3年度の開館日数)=13,301人

・「条例上の開館日数」は年末年始7日間の休館日を除いた日数

・「令和3年度の開館日数」は条例上の開館日数から保守点検の休館日数3日間とコロナの影響による休館日56日間を除いた日数

4 事業の実施状況

評価 (5評価)	評価理由・委員会意見
S	<p>成果指標の達成度は131.7%(両施設の平均)であり、評価基準により「S評価」とする。</p> <p>【障害者支援センター松が丘園】 生活介護事業では、全員が重症心身障害者で、障害支援区分が最重度の6の方を受け入れていることや、福祉研修センターや基幹相談支援センターの各事業において障害者支援施設等の職員の資質向上に取り組むなど、本市の障害者支援の中核的な役割を果たす専門性の高い事業を実施している。</p> <p>コロナ禍においても継続した支援を行うため、全館消毒、非接触型体温計設置及び飛沫防止スクリーンの設置のほか、陽性者が発生した際は、通所利用者に対するドライブスルー方式PCR検査実施することで感染の拡大を防止した。</p> <p>昨年度との比較では、特に就労支援関連の利用者が増加しているほか、研修の実施回数が増加しており、コロナ禍においても継続した支援等を行っている成果であると考えます。</p> <p>今後はけやき体育館との連携をより強化して、支援の質の向上や新たな支援方法等の検討に取り組んでいただきたい。</p> <p>【けやき体育館】 感染症拡大防止対策のために実施すべき実施要項を定め、オンラインと対面での実施を行う等の工夫もしながら、利用者の安全・安心を確保した事業実施に努めた。</p> <p>また、企画提案事業として今年度より実施した「障害者地域就労援助・けやき相談センター」については、障害者支援センター松が丘園と連携した取り組みである。同法人が運営するメリットを生かすことができているため、引き続き、松が丘園との連携に取り組んでいただきたい。</p>

市が指定する事業			
障害者支援センター松が丘園			
主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者等	評価
障害福祉サービスを行う事業	通年	年間利用者9,587人(生活介護1,633人、自立訓練2,045人、就労移行支援3,370人、就労継続支援B型2,539人) 就労定着支援契約者25人 医療的ケア実施数1,425回(うち人工呼吸器管理28回) 重症心身障害児者ネットワーク会議開催 就労者7人、職業評価実施9人	◎
基幹相談支援センターとして行う事業	通年	総合相談・専門相談 22,546件 虐待防止・権利擁護に関する研修 6回 スーパーバイザー派遣事業 144件 相模原市障害者自立支援協議会 45回	○
障害者の就労を支援する事業に関する業務	通年	新規就労者62人 (上記「障害福祉サービスを行う事業」の7人を含む) 職場実習のべ200日	◎
障害者を一時的に介護する事業に関する業務	通年	登録者286人、年間利用者1,170人 (うち医療的ケアの必要な者50人・困難要因のある利用者222人)、障害者一時ケア事業所連絡会開催	◎
障害者の支援に関する事業に従事する人材の確保及び育成に関する業務	通年	研修開催55回、研修のべ参加者886人 就労継続B型及び地域活動支援センター職員を対象とし、工賃アップに向けての取組など、生産活動に関する情報交換や研修会を実施	◎
けやき体育館との連携に関する業務	通年	けやきカフェを活用した体験実習 10件 けやき体育館内に就労相談窓口を開設し、就労相談者に対応 障害福祉サービス事業所の求人情報を常時閲覧できる「福祉求人閲覧コーナー」の運営	○

企画提案事業			
主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者等	評価
(なし)			

自主事業			
主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者等	評価
(なし)			

市が指定する事業 けやき体育館

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者等	評価
障害者のスポーツ及び文化活動の支援に関する業務	通年	<p>コロナウイルス感染症拡大防止のために実施すべき事項を定めた実施要項に基づき、各種講座を実施した。一部講座をZOOMIによるオンラインと対面の同時開催で行った。</p> <p>★障害者スポーツ講座 4講座、16回、260人(うち障害者173人)</p> <p>★ふれあい文化講座 1講座、3回、67人(障害者43人)</p>	◎
障害者余暇活動支援事業の実施に関する業務	通年	<p>コロナウイルス感染症拡大防止のために実施すべき事項を定めた実施要項に基づき、各種イベント、パラスポーツ体験会及びパラスポーツ大会を実施した。イベントの実施に当たっては、他機関と連携し実施した。一部事業は障害の有無にかかわらず誰もが参加できる事業として実施した。</p> <p>★イベント 2日間(アトラボはしもとコラボ、市民文化財団協力)、42人(うち障害者22人)</p> <p>★きままシリーズ(障害のある方を対象とした事前申込なし、開催時間内であれば自由参加のボランティアと楽しむ事業(卓球、カローリング、アート、将棋など) 5種、30回、352人(うち障害者176人)</p> <p>★パラスポーツ体験会 6種、13日、200人</p> <p>★ポッチャ大会 参加チーム8チーム</p> <p>★パラスポーツ指導訪問(ポッチャ、ブラインドサッカー)7か所、10日間</p> <p>★パラリンピック応援企画(東京・北京パラリンピック応援作品募集・展示、リレートーチ展示)</p>	◎
障害者支援センターとの連携に関する業務	通年	<p>★就労援助事業との連携</p> <p>・けやきカフェにおいて就労を目指す障害者の実習の受け入れを行った。(8人)</p> <p>・松が丘園の地域就労援助センターと連携した、けやき相談センターを開設した。(10/1～)</p> <p>★地域支援課との連携として、けやき体育館への来館者が障害福祉サービス事業所の求人情報を常時閲覧できるよう、「福祉の求人コーナー」を設置した。</p> <p>★多機能型事業所との連携として、インターンシップ実習の受け入れを行った。(2人)</p>	○

企画提案事業

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者等	評価
障害者地域就労援助・けやき相談センター	10/1～	けやき体育館内に就労相談窓口を開設し、相談者に対応した。総相談件数46回	◎

自主事業

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者等	評価
けやきカフェの経営	通年	松が丘園麦の穂のパンを取り入れたメニューの提供。テイクアウトの実施。就労を目指す職場実習の役割。242日営業。	○

5 利用者の満足度

評価 (5評価)	評価理由・委員会意見
A	<p>目標値の達成度は104.7%(両施設の平均)であり、評価基準により「A評価」とする。</p> <p>【障害者支援センター松が丘園】 特に一時ケア事業に満足している利用者の割合が高く、医療的ケアが必要な方や他の事業所の利用が難しいなど困難要因のある方を受け入れている中で高い評価を受けていることは、質の高いサービスを提供できていることが分かる。調査結果を分析し、さらなる満足度の向上に努めていただきたい。</p> <p>【けやき体育館】 満足度は100%となっており、職員対応や施設の清潔さに対する満足度が高く、利用者が気持ちよく施設を利用できていることが伺える結果である。 一方で、昨年度に引き続き、体育室の空調の効きが悪いことに対する不満の声があるが、大規模な改修を伴うことから早期に改善することは難しく、業務用扇風機の導入で対応している。</p>

利用者満足度調査	障害者支援センター松が丘園
調査手法/サンプル数	多機能型事業所及び一時ケア事業の利用者を対象に調査票を配布 多機能:実施期間 令和3年11月1日～11月30日 サンプル数 51件 一時ケア:令和3年11月17日～12月17日 サンプル数 116件
目標値の基準	4段階評価のうち「満足」「まあ満足」と回答した人の割合の合計

項目 (単位)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値 (%)	91.1	91.7	92.3	92.9	93.5	/	/
実績値 (%)	95.0	97.5	96.0	95.9	95.7	/	/
達成度 (%)	104.3%	106.3%	104.0%	103.2%	102.4%	#DIV/0!	#DIV/0!

利用者満足度調査	けやき体育館
調査手法/サンプル数	施設利用者に窓口で調査票を配布 実施期間:令和3年11月15日～12月15日 サンプル数:114件
目標値の基準	「施設を利用しての満足度はいかがですか。」の問いに対する4段階評価のうち「大いに満足」「ある程度満足」と回答した人の割合の合計

項目 (単位)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値 (%)	91.1	91.7	92.3	92.9	93.5	/	/
実績値 (%)	97.8	97.2	89.3	99.3	100.0	/	/
達成度 (%)	107.4%	106.0%	96.7%	106.9%	107.0%	#DIV/0!	#DIV/0!

その他の取組		
取組事項	時期	取組内容
福祉研修センター受講者アンケート	随時	新型コロナウイルス感染拡大の状況下において、オンライン研修を充実させ、受講者数の確保に努めた。障害福祉基礎研修等の受講者にその都度アンケートを行い、要望や満足度等を確認し、次年度の研修計画に生かしている。
福祉オンブズマンの来訪	年8回	利用者の権利擁護の取り組みとして、各回2名の相模原福祉オンブズマンが来所し、希望する利用者と一緒に面談を行った。福祉オンブズマンは、利用者から聞いた意見を施設側に伝えることで、適時の改善とよりよい支援につなげている。

6 施設の経営状況

評価 (5評価)	評価理由・委員会意見
S	指定管理料及びその他の収入により、施設の収支は問題なく賄われている。団体の期末総資産は約10億円であり、自己資本は4.5億円と厚みがある。3期間連続黒字決算(経常増減差額)であり安定性が認められる。 手許資金も豊富であり、資金面での不安は少ない。法人の経営状況に課題はないと判断される。

施設の収支概要		※直近3年間について記載 (千円)		
項目		令和元年度	令和2年度	令和3年度
収入 (a)		415,918	409,360	427,798
	指定管理料	265,630	250,574	250,656
	利用料金収入	3,534	1,880	2,322
	その他の収入	146,754	156,906	174,820
支出 (b)		415,919	409,361	427,799
	人件費	268,345	254,500	251,225
	本社管理経費	0	0	0
	その他の支出	147,574	154,861	176,574
本体事業収支 【(a)-(b)】 (c)		0	0	0
自主事業収入 (d)		3,416	2,276	2,773
自主事業支出 (e)		3,416	2,276	2,773
自主事業収支 【(d)-(e)】 (f)		0	0	0
全体収支 【(c)+(f)】		0	0	0
備考	千円未満四捨五入のため、表記数値と収支の表記の差がある。			

団体の財務状況	団体本体の経営状況について特段の問題はない。
---------	------------------------

7 管理業務の履行状況

検査方法	施設所管課職員による現地確認及びヒアリング
実施時期	【障害者支援センター松が丘園】令和3年8月16日 【けやき体育館】令和3年11月18日

検査項目	確認結果	備考
管理業務	適正に実施	建物が経年劣化してきているため、適宜修繕を実施するほか、修繕の履歴の整理を進めている。
危機管理	適正に実施	
人員配置・地元活用	適正に実施	
現金管理	適正に実施	
会計・経理	適正に実施	
情報セキュリティ	適正に実施	情報セキュリティ基本方針及び情報セキュリティマニュアルを作成・周知し、職員の意識向上を図った。
情報公開・個人情報保護	適正に実施	
市への報告事項・事前承認等	適正に実施	
加点事由	具体的内容	
有	情報セキュリティ基本方針及び情報セキュリティマニュアルを作成した。	

8 ウェブアクセシビリティ

ホームページの作成	有
-----------	---

ウェブアクセシビリティの取組項目	取組状況
機種依存文字を使っていない。	○
ページ内の文字の大きさを変えることができる。	○
単語の途中にスペースや改行を入れていない。	○
ページ内容を的確に表しているタイトルが付いている。	○
ダウンロードできるファイルには、ファイルの種類とサイズを記載している。	×
画像には、代替テキスト等を付与し、支援技術利用者にも適切な代替情報を提供している。	○
背景色と文字色にコントラストを確保するなど、色使いに配慮している。	○
その他取り組んでいること	<p>【障害者支援センター松が丘園、けやき体育館】 ホームページに関して、令和4年度内に、ファイルサイズの記載を含め、メンテナンスを行い修正する予定。デザイン性とアクセシビリティを両立させ、利用者が必要な情報を迅速に収集できるような構成とする。</p> <p>【けやき体育館】 週に1回以上の更新を行っている。</p>

9 指定管理者の自己評価

<p>【障害者支援センター松が丘園】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症が拡大する中、各種研修や会議などは、オンライン会議システムの活用など新たな実施方法に取り組むことにより、参加者数等の維持増加を図った。また、障害者のワクチン接種推進にむけて、医療機関や集団接種会場での接種が難しい知的・精神の障害者を対象とした専用接種会場の提案・実施や新型コロナウイルス感染症対策としてのドライブスルー方式のPCR検査実施など、地域生活を送る障害者に寄り添い、先進的な役割を果たした。 ・障害者支援において、対面を主としている障害者一時ケア事業など利用者への影響は避けられない事業が一部あったものの、障害福祉サービス事業所等への支援件数増加など直接的のみならず、間接的な支援の件数を増加させ、コロナ禍においても障害者支援の中核的な施設として支援が届けられるように事業を実施した。 ・通所系事業は、感染症対策を徹底することにより、通常どおり事業を継続できている。 ・今後も、ウイズコロナでの事業展開、ICTの活用など、変化する状況を把握しながら、引き続き必要とされる事業を展開していく。 <p>【けやき体育館】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症に係る緊急事態宣言による休館や、利用団体の利用控えの影響を引き続き受けたが、令和2年度に比べて、利用回数は約800回、利用人数は約9200人増える結果となった。施設貸出に当たっては「相模原市立けやき体育館貸出再開に係る実施要項」に基づき、感染症拡大防止に取り組むとともに、2階教養室のロスナイ設置や換気扇修繕、検温モニター及びCO2モニターの設置などを行い、利用者が安心して利用できる環境整備を行った。 ・余暇活動支援事業として当初予定した事業が一部中止とはなったが、「けやき体育館主催 障害者余暇活動支援事業（各種講座・イベント等）の再開に係る実施要項」に基づき、人数制限や文化講座の体育室での開催など、感染症対策に取り組みながら各種事業を行った。また、東京2020パラリンピック競技大会を契機に高まったパラスポーツや障害への関心を継続するため、誰もが参加できるパラスポーツ体験会等の事業の実施やSNSを活用した余暇情報の発信を行うなど、共生社会の実現に向けた余暇活動の支援に取り組んだ。

10 所管課意見

<p>【障害者支援センター松が丘園】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・看護師の手厚い配置など、重度の障害のある方も安心して通所できる環境を整えている点が評価できる。 ・コロナ禍において生活に不安を感じる方が増える中、利用者数が増加している事業が多いことから、本施設の取組が重要な役割を担っていると考える。 ・直接的な支援のほかにも、情報セキュリティ基本方針等の作成、ウェブアクセシビリティへの配慮、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に係る取組など、利用者はもちろん、地域の障害者が安全に安心して生活するための取組も行っており、評価できる。 <p>【けやき体育館】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症感染防止対策を講じながらの事業運営が求められたが、作成した実施要項に基づき、利用者の安全に配慮した上で事業を実施するとともに、オンライン参加と対面参加を組み合わせ事業への参加人数を増やす工夫を行い事業を実施するなど、社会情勢の変化に適切かつ迅速に対応したことを評価する。 ・障害者余暇活動支援事業の実施に当たっては、他の機関との連携事業や障害者と健常者とが一緒に参加できる事業を実施し、共生社会の推進に資する事業展開がされている。引き続き、本市で唯一無二の障害者を対象としたスポーツ・文化施設として、指定管理者のノウハウを生かした事業の実施を期待する。
--

11 選考委員会意見

【障害者支援センター松が丘園】

<評価した点>

- ・高い専門性をもって事業を実施している。
- ・コロナ禍においても感染対策を講じ、積極的に支援を継続している。

<今後期待する点等>

- ・松が丘園の知識や支援・技術等を市内の障害福祉サービス事業所等へ伝達・共有することで、市全体の障害者支援のスキルアップを図ること。
- ・限られた人員の中で専門性の高い事業を維持していくために、市と連携して随時事業見直しを図ること。
- ・コロナ禍で試みた新たな支援方法(オンラインの活用等)は、ウィズコロナ・アフターコロナでの支援においても有効なものは取り入れ、より質の高い事業を実施されることを期待する。

【けやき体育館】

<評価した点>

- ・新型コロナウイルス感染症の影響がある中で、オンラインと対面の同時開催で事業を実施する等、利用者の安全に配慮しながら参加者を増やす工夫が行われている。
- ・令和3年10月より、企画提案事業として、障害者支援センター松が丘園との連携事業が開始されており、2施設を同法人が運営するメリットを生かすことができている。

<今後期待する点>

- ・松が丘園を利用する障害者に対する支援の一環として、けやき体育館で行われる事業を活用する等、更なる連携を期待する。
- ・障害者の利用促進を図るべく、更なるPR活動努めていただきたい。
- ・パラスポーツ体験会を通じた、共生社会実現の取組に期待します。

総合評価 (自動判定)

A

(80/100)

